

遺伝診療部



診療部長
高倉 賢二

専門医資格等 日本産婦人科腫瘍学会専門医
日本産科婦人科内視鏡学会 評議員
日本内分泌学会 評議員
日本受精着床学会 評議員
京都大学 医学博士
京都大学医学部 非常勤講師
京都大学医学部 臨床教授
関西医科大学 臨床教授

専門分野 婦人科腫瘍
産婦人科手術
内分泌疾患の診断・治療

□ スタッフ

平成29年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
顧問	三宅 秀彦	日本産科婦人科学会 専門医 指導医 日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会 臨床遺伝専門医 指導医 日本人類遺伝学会 臨床細胞遺伝学認定士 日本周産期・新生児学会 周産期(母体・胎児) 専門医 日本人類遺伝学会:評議員 広報委員会委員長 教育推進委員 臨床細胞遺伝学セミナー実行委員 日本遺伝カウンセリング学会:理事・評議員 日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会共同認定 臨床遺伝専門医制度委員会委員 日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会共同認定 認定遺伝カウンセラー制度委員会 委員 日本家族性腫瘍学会 広報委員 お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科ライフサイエンス専攻 遺伝カウンセリングコース 教授	産婦人科学 臨床遺伝学	臨床遺伝学(遺伝カウンセリング)・周産期医療
室長	浅原 哲子	日本内科学会 認定内科医・指導医 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医・指導医・評議員 日本心血管内分泌代謝学会 評議員 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・研修指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医・評議員 日本肥満症治療学会 評議員 日本動脈硬化学会 動脈硬化専門医・評議員 日本病態栄養学会 評議員 日本抗加齢医学会 専門医 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医 日本糖尿病学会近畿支部 評議員 京都大学医学博士 京都大学非常勤講師	糖尿病、肥満症(メタボリックシンドローム)、内分泌、遺伝診療	糖尿病、肥満症、内分泌疾患、遺伝性疾患全般

医 師	日下部 徹	日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会 内分泌代謝科(内科)専門医・指導医 日本糖尿病学会 糖尿病専門医・指導医 日本肥満学会 肥満症専門医・指導医 京都大学大学院医学研究科 客員研究員 京都大学 医学博士	内科、内分泌・代謝	肥満症、糖尿病、サルコペニア
医 師	橋本 有紀子	日本小児科学会専門医 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医	小児科全般、小児内分泌、先天代謝異常、新生児、遺伝診療	小児内分泌、先天異常
臨床検査技師 認定遺伝 カウンセラー	飛騨 美希	日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー	検体検査、遺伝カウンセリング	遺伝性疾患全般
認定遺伝 カウンセラー	小西 陽介	日本人類遺伝学会・日本遺伝カウンセリング学会 認定遺伝カウンセラー	遺伝カウンセリング	遺伝性疾患全般
医 師	北 誠	日本小児科学会専門医 新生児蘇生法「専門」コースインストラクター	未熟児・新生児、小児全般	先天異常
医 師	馬越 洋宜	日本内科学会 認定内科医 内分泌代謝内科専門医 臨床研修指導医	内科、内分泌・代謝	高血圧、副腎疾患
医 師	山口 建	日本産科婦人科学会専門医 日本産科婦人科学会指導医 日本がん治療認定医機構 がん治療認定医 婦人科腫瘍専門医 臨床研修指導医 京都産婦人科医会 理事 日本臨床分子形態学会 評議員 日本エンドメトリオーシス学会 幹事 京都大学 非常勤講師 京都大学 医学博士	産婦人科一般	婦人科腫瘍、がんゲノム
医 師	川崎 薫	日本産科婦人科学会専門医 日本周産期・新生児医学会 周産期専門医(母体・胎児) 日本産婦人科医会 研修委員会委員 産婦人科ガイドライン婦人科外来編2020作成委員 日本母体救命システム普及協議会 J-MELS ベーシックコースインストラクター 日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法「専門」コースインストラクター 女性のヘルスケアアドバイザー 臨床研修指導医	産婦人科一般	合併症妊娠 胎児異常 周産期救急
医 師	住友 理浩	日本産科婦人科学会専門医・指導医・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医・日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法専門コースインストラクター・ALSO-Japan認定インストラクター	産婦人科一般	婦人科腫瘍、周産期救急、リスクマネージメント
医 師	和田 美智子	日本産科婦人科学会専門医・日本周産期・新生児医学会周産期専門医(母体・胎児)・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医	産婦人科一般	周産期一般

□ 診療科の特徴

施設認定等	臨床遺伝専門医制度委員会 認定研修施設
-------	---------------------

1. 2014年に発足した新しい診療科です。京都府下には遺伝診療科を有する病院が3施設ありますが、当院は京都市および京都府南部の遺伝診療に貢献しています。
2. 臨床遺伝専門医 指導医1名と臨床遺伝専門医2名を含む11名の医師と2名の認定遺伝カウンセラーが在籍しています。また、臨床遺伝専門医の認定研修施設であり、他施設に在籍する医師の研修も行っています。
3. 全ての疾患領域を対象にカウンセリングを行っています。
4. 院内の各診療科および地域との連携に努め、患者さんがよりよい医療を受けられるようお手伝いをします。

□ 主な対象疾患

遺伝性乳がん卵巣がん症候群、リンチ症候群、家族性大腸ポリポーシス、神経線維腫症、多発性内分泌腫瘍症、褐色細胞腫、網膜芽細胞腫 などの家族性腫瘍

ファブリー病、ポンペ病、高フェニルアラニン血症、ムコ多糖症、家族性高コレステロール血症、脂肪萎縮症、性分化疾患、尿崩症、ジテルマン症候群、バーター症候群、甲状腺ホルモン不応症 などの代謝疾患・内分泌疾患
ブルガダ症候群、QT延長症候群、エーラス・ダンロス症候群、マルファン症候群およびその類縁疾患、軟骨無形成症、骨形成不全症 などの循環器および骨結合組織疾患

脊髄性筋萎縮症、ハンチントン病、デュシェンヌ/ベッカー型筋ジストロフィー、ミトコンドリア病、副腎白質ジストロフィー、家族性アルツハイマー病、脆弱X症候群 などの神経筋疾患

その他、遺伝性疾患全般

□ 診療（業務）内容

1. 診断を目的として行われる遺伝学的検査のサポートを行います。
2. 遺伝性疾患と診断された後の心理的サポートや情報提供を行い、現在の状況や将来のリスクに適応するためのサポートを行います。
3. 家系内に遺伝性疾患と診断された方がおられる場合の、ご家族の方々の発症リスクや、発症前診断についての検討や情報提供を行い、その人らしい選択ができるようにサポートをします。
4. 保因者診断についての検討とサポートを行います。

□ 診療実績（平成29年度）

外来患者数

年間総患者数	年間初診患者数
27名	21名

主な疾患の件数など

腫瘍	神経筋	内分泌代謝
18件	3件	2件
循環器	小児	周産期
2件	1件	1件

□ 地域医療連携・広報活動

地域における遺伝医療の啓発

□ 学術活動報告（学会・研究発表など）

区分	演者・演題・学会名
国内学会	北 誠、阿水利沙、石塚 哲也、黒須 英雄、河田 興、浅井 康一、秋山 祐一 頻回の嘔吐を特徴とし発作時脳波で前頭葉の焦点由来と考えられたPanayiotopoulos症候群の1例 第30回近畿小児科学会 2017.3.12 大阪

国際学会	Hironobu Umakoshi, Mika Tsuiki, Isao Kurihara, Yoshiyu Takeda, Takamasa Ichijo, Norio Wada, Takuyuki Katabami, Yoshihiro Ogawa, Katsutoshi Takahashi, Masakatsu Sone, Junji Kawashima, Hirota Shiba, Toshihiko Yanase Clinical Significance of Computed Tomography and Serum Potassium in Subtype Classification of Primary Aldosteronism. (Poster presentation) ENDO 2017, the Endocrine Society's 99th Annual Meeting (ポスター) 2017.4.2 Orlando, USA
国内学会	馬越洋宜、立木美香、田上哲也、栗原勲、伊藤裕、武田仁勇、和田典夫、一城貴政、方波見卓行、成瀬光栄 原発性アルドステロン症の病型診断におけるCTの意義の再評価 第90回日本内分泌学会総会(口演) 2017.4.21 京都
国内学会	住友理浩、小椋恵利、高倉賢人、中木絢子、川村洋介、和田美智子、宇治田麻里、高尾由美、高倉賢二、小西郁生 抗凝固療法中にも関わらず腫瘍減量術後に広範な脳梗塞を発症したTrousseau 症候群合併卵巣癌の1例 第69回日本産科婦人科学会学術講演会 2017.4.15 広島
国内学会	和田美智子、高尾由美、小椋恵利、高倉賢人、中木絢子、川村洋介、宇治田麻里、住友理浩、高倉賢二、小西郁生 妊娠29週子宮内胎児死亡を契機に糖尿病ケトアシドーシスと診断された劇症1型糖尿病の1例 第69回日本産科婦人科学会学術講演会 2017.4.15 広島
国内学会	山陰一、日下部徹、小谷和彦、山田努、荒木里香、岡嶋泰一郎、大石まり子、島津章、浅原哲子 肥満症患者における心血管疾患発症リスク因子としての高尿酸血症-多施設共同前向き肥満症コホート- 第90回日本内分泌学会 2017.4.20 京都
国内学会	日下部徹、山陰一、小谷和彦、山田努、荒木里香、岡嶋泰一郎、大石まり子、島津章、浅原哲子 肥満症患者における心血管疾患発症リスク因子としての高尿酸血症-多施設共同前向き肥満症コホート- 第60回日本糖尿病学会年次学術集会 2017.5.19 名古屋
国内学会	田中将志、山陰一、増田慎也、井上隆之、北野隆司、村中和哉、小鳥真司、和田啓道、小谷和彦、日下部徹、島津章、長谷川浩二、浅原哲子 糖尿病における認知機能低下・認知症の発症予知バイオマーカーの探索-TREM2の病態生理学的意義の解明- 第60回日本糖尿病学会年次学術集会 2017.5.20 名古屋
国内学会	北誠、桑田康弘、村瀬永子、秋山祐一、臼井健 95.2%の片アレルの欠失を同定した新規PRRT2変異の発作性運動誘発性ジスキネジア(PKD)兄弟例 第59回日本小児神経学会学術集会 2017.6.16 大阪
国内学会	小椋恵利、住友理浩、高倉賢人、中木絢子、川村洋介、和田美智子、宇治田麻里、高尾由美、高倉賢二、小西郁生 分娩後16時間以上経過してから発症した外陰部血腫に対し経カテーテル動脈塞栓術が有効であった1例 第53回日本産科婦人科学会学術集会 2017.7.18 横浜
国内学会	川村洋介、小椋恵利、高倉賢人、和田美智子、住友理浩、高尾由美、高倉賢二、小西郁生 初回手術後にFDG-PET/CTで集積亢進を示し、卵巣境界悪性腫瘍再発と鑑別が困難であった肉芽腫の1例 第59回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2017.7.27 熊本
国内学会	高尾由美、小椋恵利、高倉賢人、川村洋介、和田美智子、住友理浩、高倉賢二、小西郁生 子宮平滑筋肉腫10例に関する検討 第59回日本婦人科腫瘍学会学術講演会 2017.7.29 熊本
その他	中村しほり、山口建、山村幸、小椋恵利、松坂優、高倉賢人、川崎薫、宇治田麻里、高尾由美、高倉賢二、小西郁生 術前に子宮内膜症の悪性転化との鑑別が困難であった嚢胞性腺筋腫 研修医・修練医のためのサマーセミナー2017 2017.8.11 京都
国内学会	山村幸、高倉賢二、山口建、小椋恵利、松坂優、高倉賢人、川崎薫、宇治田麻里、高尾由美、小西郁生、大堂さやか、西松佳代、渡邊幸香 平滑筋腫の併存により術前に嚢胞性腺筋腫の悪性転化が疑われた症例 Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging 2017 2017.9.2 淡路
国内学会	小椋恵利、山口建、山村幸、松坂優、高倉賢人、川崎薫、宇治田麻里、高尾由美、高倉賢二、小西郁生 子宮内にAVM様の富血管性腫瘍を認めPTSTとの鑑別を要したintramural pregnancyの一例 Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging 2017 2017.9.2 淡路
国内学会	山口建、宮本泰斗、伊藤美幸、安彦郁、堀江昭史、馬場長、松村謙臣、万代昌紀 肥満合併子宮体癌患者に対する腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術の後方視的検討 第57回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 2017.9.7 岡山
国際学会	Ken Yamaguchi, Kaoru Abiko, Naoya Kishimoto, Tsukasa Baba, Sachiko Kitamura, Akihito Horie, Miyuki Ito, and Masaki Mandai Robot-assisted radical hysterectomy after neoadjuvant chemotherapy: A single institutional retrospective study 18th APAGE Annual Congress 2017 2017.9.9 岡山
国内学会	田中将志、山陰一、増田慎也、井上隆之、北野隆司、村中和哉、小鳥真司、村瀬永子、大谷良、中村道三、和田啓道、小谷和彦、日下部徹、島津章、長谷川浩二、浅原哲子 糖尿病・肥満における新規認知症予知バイオマーカーの検討-TREM2の病的意義の解明- 第38回日本肥満学会 2017.10.7 大阪
国内学会	日下部徹、山陰一、村中和哉、小谷和彦、山田努、荒木里香、岡嶋泰一郎、大石まり子、島津章、浅原哲子 肥満症患者における心血管疾患発症リスク因子としての高尿酸血症-多施設共同前向き研究- 第38回日本肥満学会 2017.10.7 大阪
国内学会	北野隆司、井上亮、塚原隆充、田中将志、増田慎也、井上隆之、山陰一、日下部徹、長谷川浩二、島津章、浅原哲子 日本人2型糖尿病におけるPICRUST予測メタゲノム解析を用いた腸内細菌叢の病態生理学的意義の解明 第38回日本肥満学会 2017.10.8 大阪
国内学会	高倉賢人、山口建、山村幸、小椋恵利、宇治田麻里、川崎薫、高尾由美、高倉賢二、小西郁生 卵巣子宮内膜症性嚢胞に対してジェノゲスト投与中に卵巣明細胞癌を発症した一例 第55回日本癌治療学会学術集会 2017.10.20 横浜
研究会	山口建、高倉賢人、川崎薫、山村幸、小椋恵利、松坂優、宇治田麻里、高尾由美、高倉賢二、浅原哲子、日下部徹、飛騨美希、小西陽介、三宅秀彦、橋本有紀子、北誠 母体血を用いた出生前遺伝学的検査(NIPT)における遺伝カウンセリングの重要性 京都産科婦人科学会学術集会 2017.10.21 京都
国内学会	馬越洋宜、武田仁勇、栗原勲、方波見卓行、一城貴政、和田典男、吉本貴宣、河島淳司、曾根正勝、高橋克敏、立木美香、成瀬光栄 原発性アルドステロン症の病型診断におけるCTと血清カリウムの意義 第40回日本高血圧学会総会(口演) 2017.10.21 京都
国内学会	馬越洋宜、立木美香、武田仁勇、栗原勲、方波見卓行、一城貴政、和田典男、成瀬光栄 原発性アルドステロン症における副腎静脈サンプリング適応の精緻化:CTと血清カリウムを用いた分類 第21回日本臨床内分泌病学会学術総会(シンポジウム) 2017.10.28 東京

その他	馬越洋宣 内分泌性高血圧を見逃すな! 伏見内分泌代謝ネットワーク第28回連携の会 2017.11.9 京都
その他	高倉賢人、山口建、山村幸、小椋恵利、松坂優、川崎薫、宇治田麻里、高尾由美、高倉賢二 卵巣癌との鑑別が困難であった大量腹水を伴う卵巣甲状腺腫の一例 Gynecology Expert Meeting 2017 2017.11.10 京都
その他	川崎薫、山村幸、小椋恵利、松坂優、高倉賢人、宇治田麻里、山口建、高尾由美、高倉賢二、小西郁生 当院で緊急頸管縫縮術を施行した11例の後方視的検討 京都周産期カンファレンス 2017.11.18 京都
国内学会	馬越洋宣、立木美香、武田仁勇、栗原勲、方波見卓行、一城貴政、和田典男、成瀬光栄 CT所見と血清カリウムを用いた副腎静脈サンプリング適応の精緻化 第27回臨床内分泌代謝Update(ポスター) 2017.11.24 神戸
国際学会	Yu Matsuzaka, Ken Yamaguchi, Sachi Yamamura, Eri Ogura, Masahito Takakura, Mari Ujita, Kaoru Kawasaki, Yumi Takao, Kenji Takakura, Ikuo Konishi Primary retroperitoneal squamous cell carcinoma: a case report with review of the literature The 5th Biennial Meeting of Asian Society of Gynecologic Oncology (ASGO 2017) 2017.12.1 東京
国内学会	和田美智子、浅原哲子、馬越洋宣、橋本有紀子、北誠、小西陽介、飛驒美希、日下部徹、三宅秀彦、川崎薫、山口建、山賀郁、山崎誠二、高倉賢二、小西郁生 当院でのHBOC診療体制の構築 第3回日本産科婦人科遺伝診療学会 学術講演会 2017.12.15 兵庫
国内学会	馬越洋宣、立木美香、武田仁勇、栗原勲、方波見卓行、一城貴政、和田典男、成瀬光栄 副腎静脈サンプリングの適応の精緻化:局在診断と術後アウトカムの観点から 第21回日本心血管内分泌代謝学会学術総会(シンポジウム) 2017.12.9 大阪
国内学会	浅原哲子 肥満症・糖尿病の動脈硬化予防のためのリスク評価系の構築とω3多価不飽和脂肪酸の効果 第21回日本病態栄養学会年次学術集会 2018.1.14 京都
その他	馬越洋宣 副腎疾患をきわめる 平成30年度内分泌代謝性疾患専門医研修会 2018.2.2 京都
その他	浅原哲子 心血管病予防を目指した糖尿病の治療戦略 福岡糖尿病学術講演会~女性糖尿病医としてのキャリアを考える~ 2018.2.17 福岡
国内学会	小西 陽介、飛驒美希、日下部徹、橋本有紀子、馬越洋宣、北誠、川崎薫、和田美智子、山口 建、浅原哲子、三宅 秀彦、高倉賢二、小西郁生 京都医療センター遺伝診療部における4年間の取り組み 日本医療マネジメント学会 第15回 京滋支部学術集会 2018.2.17 京都

□ 投稿論文など

著者・タイトル・著書雑誌名
Ohue-Kitano R, Yasuoka Y, Goto T, Kitamura N, Si-Bum P, Kishino S, Kimura I, Kasubuchi M, Takahashi H, Li Y, Yeh Y-S, Jheng H-F, Iwase M, Tanaka M, Masuda S, Inoue T, Yamakage H, Kusakabe T, Tani F, Shimatsu A, Takahashi N, Ogawa J, Satoh-Asahara N, Kawasa T. α -Linolenic acid-derived metabolites from gut lactic acid bacteria induce differentiation of anti-inflammatory M2 macrophages through G protein-coupled receptor 40. <i>FASEB J</i> 2018; 32(1):304-308
Hashimoto K, Nishihara E, Matsumoto M, Matsumoto S, Nakajima Y, Tsujimoto K, Yamakage H, Satoh-Asahara N, Noh JY, Ito K, Miyauchi A, Mori M, Yamada M, Ogawa Y. Sialic Acid-Binding Immunoglobulin-Like Lectin1 as a Novel Predictive Biomarker for Relapse in Graves' Disease: A Multicenter Study. <i>Thyroid</i> 2018; 28(1):50-59
Komiyama M, Wada H, Ono K, Yamakage H, Satoh-Asahara N, Shimada S, Akao M, Morimoto T, Shimatsu A, Takahashi Y, Sawamura T, Hasegawa K. Smoking cessation reduces the lectin-like low-density lipoprotein receptor index, an independent cardiovascular risk marker of vascular inflammation. <i>Heart Vessel</i> 2018; 33(1):9-16
Komiyama M, Takanabe R, Ono K, Shimada S, Wada H, Yamakage H, Satoh-Asahara N, Morimoto T, Shimatsu A, Takahashi Y, Hasegawa K. Association between monocyte chemoattractant protein-1 and blood pressure in smokers. <i>J Int Med Res</i> 2017; [Epub ahead of print]
Masuda S, Tanaka M, Inoue T, Kitano R, Yamakage H, Muranaka K, Kusakabe T, Shimatsu A, Hasegawa K, Satoh-Asahara N. Chemokine(C-X-C motif) ligand 1 is a myokine induced by palmitate and is required for myogenesis in mouse satellite cells. <i>Acta Physiologica</i> 2018; Mar; 222(3); [Epub ahead of print]
Tanaka M, Hajime Y, Masuda S, Inoue T, Kitano R, Ohue-Kitano R, Araki R, Matoba Y, Saito M, Nagaoka T, Yonezawa K, Tanaka T, Suzuki M, Sawamura M, Nishimura M, Odori S, Wada H, Kotani K, Kusakabe T, Shimatsu A, Hasegawa K, Satoh-Asahara N. Serum soluble TREM2 is a potential novel biomarker of cognitive impairment in Japanese non-obese diabetic patients. <i>Diabetes & Metabolism</i> 2017; Jul; 31: S126-3636(17)30470-30476. [Epub ahead of print]
Inoue R, Ohue-Kitano R, Tsukahara T, Tanaka M, Masuda S, Inoue T, Yamakage H, Kusakabe T, Hasegawa K, Shimatsu A, Satoh-Noriko A. Prediction of functional profiles of gut microbiota from 16S rRNA metagenomic data provides a more robust evaluation of gut dysbiosis occurring in Japanese type 2 diabetic patients. <i>JCBN</i> 2017, 61(3):217-221
Ito H, Sato T, Satoh-Asahara N, Noda M. Erratum to: Impact of medication adherence on renal function in comorbid patients with type 2 diabetes and depression: protocol for a cohort study. <i>BMC Fam Pract</i> . 2017; 10;18(1):61
Inoue T, Tanaka M, Masuda S, Ohue-Kitano R, Yamakage H, Muranaka K, Wada H, Kusakabe T, Shimatsu A, Hasegawa K, Satoh-Asahara N. Omega-3 polyunsaturated fatty acids suppress the inflammatory responses of lipopolysaccharide-stimulated mouse microglia by activating SIRT1 pathways. <i>Biochimica et Biophysica Acta</i> 2017; 1862 (5):552-560
Murata T, Tsuzaki K, Nirengi S, Watanabe T, Mizutani Y, Okada H, Tsukamoto M, Odori S, Nakagawachi R, Kawaguchi Y, Yoshioka F, Yamada K, Shimatsu A, Kotani K, Satoh-Asahara N, Sakane N. Diagnostic accuracy of the anti-glutamic acid decarboxylase antibody in type 1 diabetes mellitus: Comparison between radioimmunoassay and enzyme-linked immunosorbent assay. <i>J Diabetes Investig</i> 2017 Jul; 8(4); 475-479
浅原哲子:肥満症治療における食事療法の実際 診断と治療 2017年105巻3号
浅原哲子、北野隆司:特集 腸内細菌と生活習慣病「腸内細菌と食事療法」 月刊糖尿病 2017年5月Vol.9 No.5
住友理浩、小椋恵利、高倉賢人、川村洋介、和田美智子、高尾由美、高倉賢二、小西郁生. 抗凝固療法中にもかかわらず腫瘍減量術直後に広範な脳梗塞を発生したTrousseau 症候群合併卵巣癌の1例. 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2017;第35巻 第4号 803-809

宇治田麻里、住友理浩、高倉賢人、川村洋介、高倉賢二、小西郁生。 当院での全腹腔鏡下子宮全摘術における試み。 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌 2017年12月;33巻 第2号293-298
川村洋介、高倉賢二、高倉賢人、和田美智子、住友理浩、高尾由美、小西郁生。 初回手術後にFDG-PET/CTで集積亢進を示し、卵巣境界悪性腫瘍再発と鑑別が困難であった肉芽腫の1例。 日本婦人科腫瘍学会雑誌 2017;第35巻 第4号 793-796
山口建、吉岡弓子、松村謙臣、小西郁生。 進行・再発がんに対する骨盤除臓術。 先端シリーズ48 臨床医のための最新産科婦人科, pp171-174, 先端医療技術研究所、東京、2017
川村洋介、高倉賢二、高倉賢人、宇治田麻里、住友理浩、大蔵啓輔、直原駿平、成田匡大、小西郁生。 TLH術後に有棘縫合糸により絞扼性イレウスを発症した1例。 日本産科婦人科内視鏡学会雑誌。2017;1:182-185
中木絢子、住友理浩、下園寛子、高倉賢人、川村洋介、泰さおり、和田美智子、奥田亜紀子、宇治田麻里、高尾由美、江川春人、高倉賢二、小西郁生。 分娩時に子宮腔部の全周性脱落をきたした症例の分娩後MRI所見の推移に関する検討。 日本周産期・新生児医学会雑誌 2017;53:180-184
Kita M, Kuwata Y, Murase N, Akiyama Y, Usui T, Novel Truncation Mutation of the PRRT2 Gene Resulting in a 16-Amino-Acid Protein Causes Self-inducible Paroxysmal Kinesigenic Dyskinesia. <i>Mov Disorders clinical practice</i> 2017; 4:625–628.
Wada M, Kita M, Kawasaki K, Kusakabe T, Tagami T, Satoh-Asahara N, Shimatsu A and Hashimoto K. False-positive TSH receptor antibody <i>Endocr J.</i> 2018 Mar 10. doi: 10.1507/endocrj.EJ17-0426. [Epub ahead of print]
Umakoshi H, Tsuiki M, Takeda Y, Kurihara I, Itoh H, Katabami T, Ichijo T, Wada N, Yoshimoto T, Ogawa Y, Kawashima J, Sone M, Inagaki N, Takahashi K, Watanabe M, Yuichi M, Kobayashi H, Shibata H, Kamemura K Otsuki M, Fujii Y, Yamamoto K, Ogo A, Yanase T, Suzuki T Naruse M. Significance of Computed Tomography and Serum Potassium in Predicting Subtype Diagnosis of Primary Aldosteronism. <i>The Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism</i> 2018 ;103(3):900-908
Umakoshi H, Ogasawara T, Takeda Y, Kurihara I, Itoh H, Katabami T, Ichijo T, Wada N, Shibayama Y, Yoshimoto T, Ogawa Y, Kawashima J, Sone M, Inagaki N, Takahashi K, Watanabe M, Matsuda Y, Kobayashi H, Shibata H, Kamemura K, Otsuki M, Fujii Y, Yamamoto K, Ogo A, Yanase T, Okamura S, Miyauchi S, Suzuki T, Tsuiki M, Naruse M; JPAS Study Group. Accuracy of adrenal computed tomography in predicting the unilateral subtype in young patients with hypokalaemia and elevation of aldosterone in primary aldosteronism. <i>Clin Endocrinol (Oxf)</i> . 2018 Feb 21. doi: 10.1111/cen.13582. [Epub ahead of print]
Ohno Y, Sone M, Inagaki N, Yamasaki T, Ogawa O, Takeda Y, Kurihara I, Itoh H, Umakoshi H, Tsuiki M, Ichijo T, Katabami T, Tanaka Y, Wada N, Shibayama Y, Yoshimoto T, Ogawa Y, Kawashima J, Takahashi K, Fujita M, Watanabe M, Matsuda Y, Kobayashi H, Shibata H, Kamemura K, Otsuki M, Fujii Y, Yamamoto K, Ogo A, Okamura S, Miyauchi S, Fukuoka T, Izawa S, Yoneda T, Hashimoto S, Yanase T, Suzuki T, Kawamura T, Tabara Y, Matsuda F, Naruse M; Nagahama Study; JPAS Study Group. Prevalence of Cardiovascular Disease and Its Risk Factors in Primary Aldosteronism: A Multicenter Study in Japan. <i>Hypertension</i> . 2018 Mar;71(3):530-537.
Yokomoto-Umakoshi M, Umakoshi H, Tsuiki M, Ogasawara T, Hamanaka-Hiroshima K, Tanabe A, Tagami T, Shimatsu A, Naruse M. Paraganglioma as a risk factor for bone metastasis. <i>Endocr J.</i> 2017 Nov 29. doi: 10.1507/endocrj.EJ17-0368
Fujii Y, Umakoshi H, Wada N, Ichijo T, Kamemura K, Matsuda Y, Kai T, Fukuoka T, Sakamoto R, Ogo A, Suzuki T, Nanba K, Tsuiki M, Naruse M; WAVES-J Study Group. Subtype prediction of primary aldosteronism by combining aldosterone concentrations in the left adrenal vein and inferior vena cava: a multicenter collaborative study on adrenal venous sampling. <i>J Hum Hypertens</i> . 2017 Dec;32(1):12-19.
Naruse M, Umakoshi H, Tsuiki M, Yokomoto M, Tagami T, Tanabe A, Shimatsu A. The Latest Developments of Functional Molecular Imaging in the Diagnosis of Primary Aldosteronism. <i>Horm Metab Res</i> . 2017 Dec;49(12):929-935.
Williams TA, Lenders JWM, Mulatero P, Burrello J, Rottenkolber M, Adolf C, Satoh F, Amar L, Quinkler M, Deinum J, Beuschlein F, Kitamoto KK, Pham U, Morimoto R, Umakoshi H, Prejbisz A, Kocjan T, Naruse M, Stowasser M, Nishikawa T, Young WF Jr, Gomez-Sanchez CE, Funder JW, Reincke M; Primary Aldosteronism Surgery Outcome (PASO) investigators. Outcomes after adrenalectomy for unilateral primary aldosteronism: an international consensus on outcome measures and analysis of remission rates in an international cohort. <i>Lancet Diabetes Endocrinol</i> . 2017 Sep;5(9):689-699.
Wada N, Shibayama Y, Umakoshi H, Ichijo T, Fujii Y, Kamemura K, Kai T, Sakamoto R, Ogo A, Matsuda Y, Fukuoka T, Tsuiki M, Suzuki T, Naruse M. Hyperkalemia in both surgically and medically treated patients with primary aldosteronism. <i>J Hum Hypertens</i> . 2017 Oct;31(10):627-632
馬越洋宣、田上哲也、成瀬光栄。原発性アルドステロン症の成因。原発性アルドステロン症診療マニュアル改定第3版。2017: 42-44
馬越洋宣、横本真希、立木美佳、田上哲也、成瀬光栄。原発性アルドステロン症の局在診断法としての副腎静脈サンプリングの課題。血圧 2017;24(12) 858-860.